

千八十五、キロメートルナリ又芬蘭ニ於テ敷設中ノ線路ハ二百八十、キロメートルアリ
 今後數年ヲ經ハ露國ハ歐亞兩國ニ於テ五万、キロメートル以上ノ鐵道ヲ有スルニ至ルヘシ而
 シテ其總延長ノ幾ンド三分ノ二ハ官線ナリ

○清國蘆津鐵道工事現況

蘆津鐵道天津北京間工事ハ既ニ天津ヨリ馬家堡北京永定門ヲ
 距ル約五清里ニ至ル間ノ鐵道敷設ヲ終リ未タ公然タル開業ヲ爲シタルニハアラサレトモ日
 下天津馬家堡間ハ双方ヨリ毎日二三回ノ列車ヲ發シ重モニ鐵道工所用ノ材料ヲ運搬シ又公
 衆ノ乘車ヲ許セリ天津ヨリ馬家堡マテハ距離約二百清里一清里ハ我五町九間ニシテ大抵五
 時間ヲ要スルヲ以テ第一發ノ列車ニ乘スルトキハ一日ニ北京天津間ヲ往復スルヲ得ヘシ然
 レトモ列車ハ皆貨車ナルヲ以テ雨天ノ際ノ如キ乘客ハ殊ニ困難ヲ極ム乘車賃金ハ區々ニシ
 テ一定ヒスト雖モ大抵一弗四十仙内外ナリト云ヘリ今本線路ノ停車場所在地ヲ擧クレハ下
 ノ如シ 天津 陳宗溝 北倉 楊村 落發 狼房 黃村 豐臺 馬家堡 (右二件T、N)

○波ノ力ヲ利用スル新發明

一種ノ機械ヲ發明シテ波ノ力ヲ利用セントハ工學家多年ノ宿
 望ナリシガ終ニ此宿望ヲ達スルニ至レリ英國ウエストミンスターノビー、モルレー、フレツチ
 ヤー(B. Morley Fitcher)氏ハ從來此問題ノ解釋ニ工夫ヲ凝ラシ居リシガ其勞空シカラザルヲ得
 タリ茲ニ圖解スル氏ノ發明ハ極メテ少額ノ費用ヲ以テ強大ナル力ヲ利用シ得ベク又材料ノ
 消耗ト云ヘバ唯機械ノ運轉部ノ摩損ニ過ギザルガ如シ其方法ハ平板又ハ圓板ヲ造リテ毫モ
 波動ノ影響ナキ水面下ニ横置シ丈夫ナル繫船具鎖等ニテ之ヲ海底ニ繫着シ且適宜ノ方法ヲ
 以テ其潮流ニ動かサル、ヲ豫防スルナリ而シテ發動機ハ二部ヨリ成リ一ハ圓筒形ノ管ニシ